

郵便入札におけるくじ引きによる落札者の決定について

令和3年8月11日

以下の手順によりくじ引きを行い、その当選者を落札者に決定する。

1 くじ引きの手順

- (1) 入札参加者は、入札書の「くじ番号」欄に3桁の任意の自然数(000～999)をあらかじめ記入した上で、入札書を作成、郵送する。なお、「くじ番号」欄の各桁の数値が不明確または未記入の場合は、当該数値に「9」を割り当てる。

【くじ番号記入例】

1	2	3
---	---	---

この場合、くじ番号は「123」

0	1	2
---	---	---

この場合、くじ番号は「12」

7		1
---	--	---

この場合、くじ番号は「791」

- (2) くじ引きの対象となる入札参加者に対し、入札書に記載された3桁の「くじ番号」の小さい者から順に0からの番号を付ける。ただし、「くじ番号」が同一の者が2者以上ある場合は、当該入札参加者間に付す番号は商号の五十音順とする。

【例】対象となる者が2者の場合：付ける番号は0、1

対象となる者が3者の場合：付ける番号は0、1、2

- (3) 入札書（失格者及び無効な入札（入札に参加する者の公募に係る一般的事項等を定める告示に記載されている入札参加の条件を具備していない者の行った入札、調査基準価格を下回り無効となった入札等）をした者が提出したものを除く。）に記載された「くじ番号」を合計する。
- (4) (3)により合計した数値をくじ引きの対象となる入札参加者の数で割り、余りを求める。割り切れた場合は0とする。
- (5) (2)により付けた番号と(4)により算出した余りが一致した者を落札者とする。

2 例

入札参加者	くじ番号	くじ引きの対象となる入札参加者に付す番号		
		パターン1	パターン2	パターン3
A	012	0		
B	123	2	1	
C	102	1	0	0
D	324	3	2	1
E	354	4	3	
合計	915	(A, B, C, D, Eの5者がくじ引きの対象となった場合)	(B, C, D, Eの4者がくじ引きの対象となった場合)	(C, Dの2者がくじ引きの対象となった場合)

<失格者等がない場合>

パターン1 : $(012+123+102+324+354) \div 5 = 183$ 余り 0 → Aが落札
($183 \times 5 = 915$)

パターン2 : $(012+123+102+324+354) \div 4 = 228$ 余り 3 → Eが落札
($228 \times 4 + 3 = 915$)

パターン3 : $(012+123+102+324+354) \div 2 = 457$ 余り 1 → Dが落札
($457 \times 2 + 1 = 915$)